

今後の分科会審議に関する論点の例

1. 現状認識の整理

- ・ 大学教育と職業との接続の現状に関する基本認識
(今後の分科会審議の共通の出発点であり、各方面において「就活問題」を論ずる際にも最低限理解しておくべきこととして)

2. 審議すべき課題

- (1) 「就活」の現状をめぐる具体的な諸問題
(特に学生並びに企業の立場から見た問題点)
- (2) ユニバーサル化状況の下での大学教育の課題
- (3) 日本型雇用システムの変化の方向性
- (4) 今後の社会において求められる職業的レリバンス
- (5) 緩やかな職種別労働市場形成の可能性

3. 提言すべき事項

- (1) 大学教育における職業的レリバンスの形成の在り方
- (2) 「就活問題」に関する改善方策
- (3) 今後の日本社会の向かうべき方向性